

東海ブロック審判員・記録員伝達研修会

平成27年2月14日（土）15日（日）の2日間にわたり、標記研修会が開催された。今年は静岡県湖西市での開催となり、愛知・岐阜・三重の各県を代表する審判員・記録員ら約60名が参加。先に行われた中央研修会参加者が講師となり、本年度の伝達研修会が行われた。開講式のあと、(公財)日本ソフトボール協会の高橋清生・専務理事の講義があり、その後、審判員・記録員に分かれての研修が翌日午後まで行われた。

記録の部では、大幅に見直されたスコアリングマニュアル第3版の説明や、これに伴う記帳・点検の研修にほとんどの時間が割かれた。スコアカードの日本語部分を訳すと、そのまま国際大会でも通用するもので、「アジアをリードする日本」の象徴とも言えよう。審判員・記録員そして放送などとの連携プレーと高い技術力で、2020年に開催される東京オリンピックでの復活を全面的に後押ししたい。

